

附属学校最新情報紹介

学校名	富山大学教育学部附属小学校		
役職	PTA 会長	氏名	米田篤史
活動名	ランドセルと内履きの自由化!! ～多様性の推進～		

【内容】

この度、50年以上前から富山大学教育学部附属小学校の低学年（1年生と2年生）の指定ランドセルだった黒川鞆店の「黄色いランドセル」を指定鞆から解除することになりました。この決定は、新型コロナウイルスの影響でクロムブックが全児童に配布され全児童に配布されることになり、低学年児童に合わせて設計された黄色いランドセルに合わなくなったことが大きな理由です。黄色いランドセルは、遠方から公共交通機関を使って通う児童が多い附属小学校の先生からも何かトラブルが生じた際、ランドセルの色で附属の生徒かすぐに判別できた、という利点もありました。新1年生が真新しい黄色いランドセルを小さな体に背負って歩いている姿は富山の風景の一つでもあり、42年前にこの黄色いランドセルを使用していた私としても苦渋の決断でしたが、これも時代の流れと割り切ることにいたしました。指定鞆から解除することになり、黒川鞆店も数量の予測ができないものは作ることができない、と製造自体も終了することになりました。

併せて、3年生以上で指定されている皮のランドセルもそれ自体も重く、教科書やクロムブックを入れるとさらに重くなります。また日によって中身がほとんどないのに通学する際は指定のランドセルを使用しなくてはいけないことも、使いづらいという声が多く上がってきました。近年は軽くて丈夫なランドセル型の鞆も出てきたことから、学校側とPTAとで検討を重ねてルールを作り、児童がより快適な学校生活が送れるように鞆も選択ができるようにしました。

同様に、甲高・幅広など個人差のある児童の足のサイズに合わせた内履きの選択も可能にしました。成長期の児童にとってサイズの合わない内履きを無理して履くことは大きなストレスになっていたはずで

ふたば

特別号

広報誌ふたば
令和5年9月25日
発行/富山大学教育学部附属小学校ふたば会



内履きの変更について ①



現状の学校指定の内履き

変更背景

- 保護者からの意見
- 人によっては靴擦れしやすい。
- 足に合わない。

↓

学校

それぞれの
子供の足に合ったものを使用できるように変更する。

変更内容

原則自由に選べることとする。
※現在の学校指定内履きを引き続き使用することも可能です。

変更時期

2023年10月2日より実施。

内履きの変更について ②

選定ルール

- 内履き用または屋内用のものを選定する。
- 汚れや痛みが予想されるので、内履きとして妥当なものを選定する。
- マジックテープタイプか紐タイプかは問わない。
※紐タイプは自分でちゃんと結べることを前提とします。
- 色は白を基調とする。
- フンポイントやラインは可とする。
※華やかな装飾やデザイン、アニメのキャラクター物等は不可とします。
- 靴底の厚いものは不可とする。
足元が不安定で転びやすいので危険です。
- 足首まで覆うような形のもの不可とする。
脱ぎ履きや取納面から選定しません。



インソールは取り外しできると洗うことができ、清潔に保てます。

抗菌、防カビ材などの菌が繁殖しにくい素材がと清潔に保てます。

メッシュ素材のものは通気性がよく、1日中快適に通気させます。

※華やかな装飾やデザイン、アニメのキャラクター物等は不可とします。

低学年ランドセルの変更について 1



現状の学校指定のランドセル

変更背景

保護者からの
意見

クロムブックや教科書のサイズ変更により中身が重くなり、指定ランドセルが合わなくなってきた。

学校

それぞれの子供の体に合ったものを使用できるように変更する。

変更内容

登下校に使うランドセルは、原則自由を選ぶこととする。

※ 今回の変更と合わせて、現在の学校指定ランドセル(黄色)については、販売店での取り扱いも終了します。
※ ただし、現在の学校指定ランドセル(黄色)を引き続き使用することも可能です。

変更時期

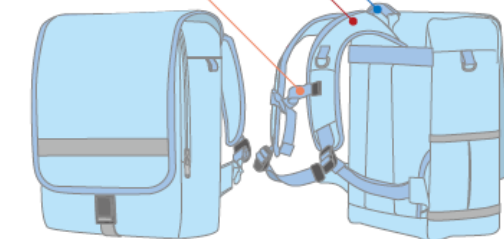
2023年10月2日より実施。

3

低学年ランドセルの変更について 2

選定ルール

- 革製のランドセルやソフトタイプのランドセル。
- 容量(〇〇ℓ等)は指定しない。
 - ※ 子供の体に合ったランドセルを選びましょう。
- 両肩で背負うタイプのもの。
 - ※ ショルダー部分は厚みがあり幅広いものの方が肩に感じる負担が軽減します。
- 色は自由。
 - ※ 現在も3年生以降に使用するランドセルの色は自由。



- A4のサイズのお便りや教科書を入れやすいもの。
- クロムブックが入るサイズのもの。
 - ※ ランドセルの背にタブレットを収納できるポケットがあるタイプのももあります。衝撃によるクロムブックの故障が増えております。クッション性がある安全にタブレットを運べるものを選んでください。



装飾・装備等で引っ掛けやすい形状のものは不可。

4

文字通り小さな一歩かもしれませんが、児童がより快適に学校生活を送るために身近なところから、ひとつひとつ対応できることから変えていくことが、多様性を求められる世の中には必要だと思っております。